

21世紀に  
伝えたい

# ちば

の魅力

No. 12

自然と伝説の里

# 富山と伊予ヶ岳



里見八犬伝の歴史とロマンのかがりが漂う富山&伊予ヶ岳周辺



伏姫と妖犬八房が隠れ住んだという富山のふもと。八房をまつた犬塚もあります

## 伏姫と八房はどこに隠れていたの？

房総里見氏初代義実の娘・伏姫は妖犬八房に慕われ、富山(標高350m)のふもとの洞で一緒に暮らすことになりました。やがて伏姫は八房の子供を宿したことから心中することを決意。しかし八房が敵の凶弾に倒れ、悲しんだ伏姫は自害して果てました。曲亭馬琴作「南総里見八犬伝」の物語で、

房総里見氏の歴史に題材を得た伝奇小説です。八房と暮らしたという洞は「伏姫籠穴」として今も残されています。八房をまつた犬塚もあります。一帯は里見八犬伝の歴史とロマンのかある山として整備されています。交通◆JR内房線岩井駅から富山中学校前を経て徒歩約30分。



伏姫籠穴の入口にある山門



樹木につつまれた伏姫籠穴



内房線岩井駅前の広場に完成した伏姫と八房の像

## なぜ初夏に山が黄金色に？

スタジイの花の色によるもので、5月中旬～6月初旬に森を黄金色に染めるほど大量の穂状の花を咲かせます。富山南峰の南斜面にあるスタジイの自然林は、杉や松の美林を圧倒して優占種(大量に生えている種類)となっています。花は約6～12cm前後の穂状で、緑の葉先を覆い隠すように上に向けて咲きます。樹高は約25m。



森を黄金色に染めるスタジイの花

## ●どんぐりの形●

山や林に、いろいろな大きさや形のどんぐりが観察できます。以下は国内でも代表的などんぐりです。

名称	クヌギ	コナラ	シラカシ	マテバシイ
種類	落葉高木	落葉高木	常緑高木	常緑高木
植生	山地	雑木林	生け垣、防風林	沿岸、寺社の境内
実の形	直径約2cmの球形	約1.5cmの楕円形	太めの楕円形	大型で細長い形
特徴	黄褐色で花序は穂状に垂れている。開花は4～5月。	葉の先がとがり鋸歯。黄褐色の花。開花は4～5月。	植皮はなめらかで緑がかった黒色。開花は4～5月。	葉の長さは5～6cmで裏側は銀色。開花は6月。

## 日本一長の歴史小説 「南総里見八犬伝」

市川猿之助のスーパー歌舞伎や浄瑠璃などで知られる「南総里見八犬伝」は、房総里見氏10代の盛衰を綴った歴史小説であると同時に、初代義実の娘・伏姫が妖犬八房の精を感じて生んだ仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌の八徳の玉を持つ八犬士が里見家の勃興に大いに活躍するという伝奇小説でもあります。

この作品は、曲亭馬琴が48歳の文化11年(1814)に初編を出してから76歳まで28年もの歳月をかけて刊行した大作です。右写真は歌川豊国・貞秀画(富山町蔵)。



## 「へぐり」って何のこと？

伊予ヶ岳の麓、平久里中地区に平群天神社があります。毎年10月の祭礼では武者人形などで飾られた屋台が華やかです。

ところで「へぐり」とは量や菰の「辺縁をくぐる」という意味です。一説では、大和(奈良県)にある平群山が一千年を経ても変わることのない山容を誇っていることから、長寿を祝って名付けられたと伝えられています。(「富山町史」より)。また、奈良県南部に、同名の「平群町」があり、古代の豪族平群氏の本拠地とされています。



平群天神社の祭礼で担いで回る屋台

## ヒガンバナに毒がある？

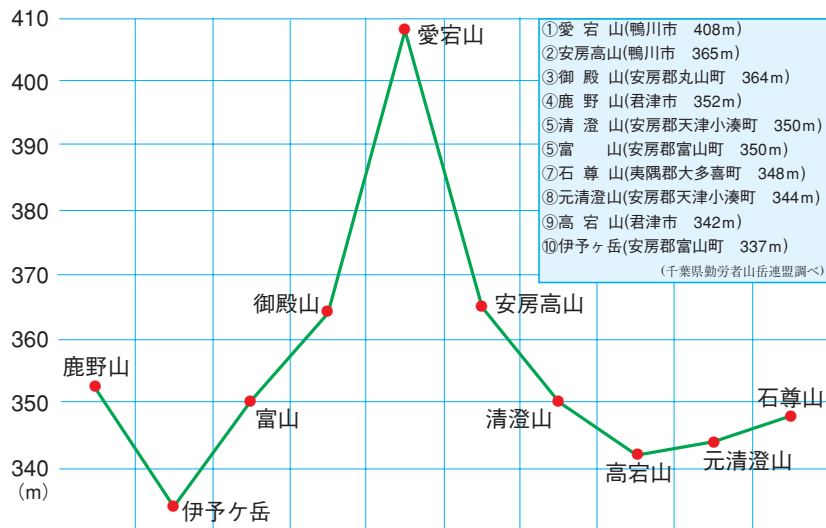
まんじゅしゃげ 曼珠沙華とも言い、梵語で「美しい赤い花」を表しています。秋の彼岸のころ畑の傍らや墓地など人里に近い所に群生し、葉のない茎の先に炎のような花を咲かせます。千葉県内の方言で「カジバナ」とか「ユレイバナ」などと言われています。普通ヒガンバナには実はならないが、ラッキョウ型の地下茎でどんどん増えていきます。この地下茎は生命力が強く良質なデンプンを



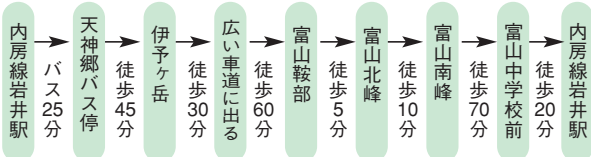
伊予ヶ岳の南方、平久里下地区に咲くヒガンバナ

含んでいるので、昔から救荒食品として植えられてきました。しかし地下茎に毒の成分を含んでいるので、十分に水洗いして晒さないと中毒を起こします。伊予ヶ岳南方の平久里下地区が見所です。交通◆内房線岩井駅からバス20分「堂の下」下車。

## 県内の高い山ベスト10



# 富山 & 伊予ヶ岳 ★ まるごとウォッチング



【コースガイド】 県内では珍しい双耳峰の富山と安房妙義の別名を持つ伊予ヶ岳。縦走ではなく、時間と体力に合わせて単独峰に挑戦するのもよいでしょう。史跡や名勝などを自分なりに組み合わせるのも一興です。「伊予ヶ岳」は山頂近くで岩山となりクサリ場もあるので、ハイキング気分でスニーカーなど履いて出かけると手痛いシツペ返しをくうことにもなります。帰りにひと風呂浴びたい方には、岩婦湖のほとりにある岩婦温泉(旅館2軒)がおすすめ。



【案内】 ①岩井駅・富山ウォーキングセンター ②伏姫と八房の像 ③天神郷バス停 ④民俗資料館 ⑤平群天神社 ⑥夫婦くすの木 ⑦伊予ヶ岳 ⑧吉井大井戸 ⑨富山 ⑩伏姫籠穴・犬塚 ⑪福満寺 ⑫富山中学校前バス停 ⑬岩婦湖 ⑭大ソテツ

## 秋に見られる草花

晩秋から冬にかけて珍しい草花が観察できます。樹下に生えているアカネ科のアリドオシはサクランボのような赤くて丸い双子の実が熟します。ユリ科のヤブランは薄紫色の花を咲かせた後、一本の花の茎に暗紅色の小さな実をたくさんつけます。



アリドオシの実



ヤブランの花

富山町観光協会 ☎0470-57-2088

富山町H.P. <http://www.awa.or.jp/home/tomiya/index.htm>

## 景観に恵まれた岩婦湖



深い森に囲まれた岩婦湖

春は桜、夏には新緑と釣り、秋には紅葉と四季折々の景観を楽しむことができます。その湖畔にある岩婦温泉は硫黄を含み鉱泉で、神経痛、関節リウマチ、糖尿病、皮膚病などに効能。

交通◆内房線岩井駅からタクシー約13分

●岩婦館 ☎0470-57-3533

●伏姫荘 ☎0470-57-2782

## かかし祭りと富楽里

恒例のかかし祭りが10月初旬に1週間かけて開かれる予定。地元のリサイクルショップ「生活館」(☎0470-57-4606)と町直営の農産物直売所「富楽里」(☎0470-57-2601)の主催で、町内二部地区の田んぼに200体以上も並びます。交通◆富津館山道路・鋸南富山ICから直進約1km



二百体以上も並びかかし祭り(平成十二年度)